

越前市 消防団

越前市消防団 東分団 準優勝！



7月19日(土)、福井県消防学校において「第74回福井県消防操法大会」が開催されました。本大会は、消防団員の操法技術の向上と士気の高揚を目的として行われ、県内各消防組合(局)の代表分団、全7分団が出場しました。大会では、動作の規律やタイムを競いながら、消火技術を披露。各分団が日頃の訓練の成果を存分に発揮し、見応えのある素晴らしい操法が展開されました。南越消防組合からは、小型ポンプ操法の部において、越前市消防団東分団が出場。力強く、かつ正確な操法で会場を沸かせました。

東分団長 齋藤 修

福井県消防学校にて開催された「第74回福井県消防操法大会」において、越前市消防団東分団が小型ポンプ操法の部に13年ぶりに出場しました。

選手たちは、規律訓練から始まり、4月下旬には自主訓練、5月下旬からは早朝4時半からの本格的な訓練を開始。約3ヶ月間にわたり、操法の精進を目指して懸命に練習を重ねてきました。

その途中、指揮者と1番員が足を負傷するという不測の事態に見舞われましたが、交代選手が迅速に決定されるとともに、負傷した選手が交代した選手に指導を行うなど、東分団の強い結束力が光る場面もありました。

大会が近づくと、「悲願の優勝！」を合言葉に練習にも一層熱が入り、出場選手はもちろん、サポートにあたる分団員の表情も自然と真剣さを帯びていきました。

迎えた大会当日は猛暑日となりましたが、選手たちはこれまでの練習の成果を存分に発揮し、見事、準優勝という素晴らしい成績を収めることができました。

これもひとえに、黒田・片山両指導員のご指導をはじめ、選手一人ひとりの高い意識と努力、そして各消防署員・消防団員の皆様、関係者各位からの温かい激励とご支援の賜物です。心より感謝申し上げます。最高の仲間たちに——カンパイ！



指揮者 宮本 英明

6月の途中から指揮者を務めることになり、体力面に不安はありましたが、今回が3回目の操法大会出場で、前回は指揮者を経験していたこともあり、スムーズに練習に取り組むことができました。

前回は満足のいく成績ではなかったため、選手に選ばれた時には「リベンジしたい」という強い思いがありました。また、今回は最年長で経験も豊富だったことから、大会当日は自分自身の役割を果たすだけでなく、他の選手にも良いアドバイスができればと考えていました。

結果は惜しくも優勝には届きませんでしたが、準優勝という好成績を収めることができ、非常に満足しています。これもひとえに、黒田・片山両指導員のご指導のおかげです。心より感謝申し上げます。

また、応援に駆けつけてくださった署員の皆様、そして準備や片付けをしてくださった分団長をはじめ団員の皆様、本当にありがとうございました。



1番員 渡邊 孝史

自分は当初、補助員として参加していましたが、しばらくして1番員に代わり、本格的に練習に取り組みようになりました。最初は「とりあえずポン走をやり遂げる」という目標でしたが、いつの間にか「上位を狙う」という目標へと変わっていきました。

選手の皆さん、応援してくださった団員の皆様、消防職員の皆様、そして黒田・片山両指導員の熱い想いが、自分のやる気を大きく変えてくれたのだと思います。その想いに応えることができ、準優勝という結果を残せたことは、一生忘れられない思い出となりました。そして、素晴らしい縁をいただけたことに心から感謝しています。

選手の皆さん、分団員の皆様、黒田・片山両指導員、本当にありがとうございました！

本番終了後、すぐに見た皆様の笑顔は、今でも鮮明に心に残っています。

ポン走は、まさにヒーロードラマだ！



2番員 河合 隆輝

小型ポンプ操法大会への出場が決まった当初は、不安でいっぱいでした。

しかし、中消防署の黒田・片山両指導員からの熱心なご指導、齋藤分団長をはじめとする先輩方の温かいご支援、そして共に練習に励んだ仲間たちとの切磋琢磨を通じて、東分団としての団結が生まれました。

応援してくださる皆様や、共に頑張る仲間のために「自分も頑張りたい」「優勝を目指したい」という気持ちが芽生え、日々の訓練に励みました。

結果は準優勝でしたが、持てる力を出し切った結果であり、悔いはありません。支えてくださった皆様には、感謝の気持ちがありません。

操法大会を通して、ようやく東分団の一員になれたような気がしています。

この大会に出場して本当に良かったです。心から、ありがとうございます。

3番員 坪田 朋久

今大会に際しましては、多くの皆様より物心両面にわたりご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

大会当日は猛暑と緊張の中、東分団全員が一丸となって臨み、準優勝という素晴らしい結果を残すことができました。

4月から始まった自主訓練から本大会までの約3ヶ月間、早朝4時半からの本訓練は、体力・精神力ともに非常に厳しいものでしたが、分団員全員で乗り越えることができ、大変嬉しく思っております。貴重な経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、訓練を指導し、大会へと導いてくださった黒田・片山両指導員に心より感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。

補助員 北川 雄大

本訓練に入り、普段活動することのない早朝4時半からの訓練は、夏の暑さも重なり非常に厳しいものでした。

それでも、選手の皆さん、東分団の応援に駆けつけてくださった方々、そして熱心にご指導くださった指導者の皆様と共に、最後までやり遂げることができ、本当に良かったです。

消防団に入団して数年が経ちますが、今回の活動期間はこれまでで最も濃密で、貴重な経験となりました。

大会当日は、これまでの訓練の成果を発揮でき、準優勝という良い成績をいただけたことに加え、他の分団の操法を観戦することもでき、非常に充実した一日となりました。

礼式やホースの取り扱いなど、すべてが初めての経験で覚えるのに苦労しましたが、教えていただいたことを今後の消防団活動にしっかりと生かしていきたいと思えます。

令和7年4月
新入団員紹介

- ① 趣味
- ② 座右の銘
- ③ 入団理由
- ④ 消防団のイメージ
- ⑤ 今後の抱負

国高分団

兵 清隆



- ① テニス、ゴルフ
- ② 失敗を教訓に
- ③ 団員の方から誘われた為
- ④ 地域の防災の縁の下の力持ち的な存在だと思えます。
- ⑤ 地域の安全を守るため、少しでも力になりたいです。

国高分団

館 尚良



- ① ゴルフ・テニス等の運動
- ② 勇往邁進
- ③ 地元地域交友者からの紹介です。
- ④ 地元の有志たちが地域を守る心強い助っ人。
- ⑤ 皆さんと一緒に地域を守り支え合えるよう、活動等に積極的にいきたいです。

北新庄分団

上田 倫裕



- ① 車を洗う事
- ② やりたいと思えば挑戦
- ③ 何か人の為にできる事がないかと考えた事です。
- ④ 地域住民と安全を守るために地域防災の中核の活躍。
- ⑤ 自分の人生にとって貴重な思い出であり、思いやりの気持ちで人生に生かしたい。

北新庄分団

青木 豊



- ① 旅行
- ② 特になし
- ③ 地域活動に参加してみたかったから。
- ④ 夜間警備の活動をしている。
- ⑤ 知識を身につけ、地域の為に貢献していけるようになりたい。

北新庄分団

西川 嘉一



- ① ジム
- ② 鉄は熱いうちに打て
- ③ 何度か誘いは受けていた、自分の中のタイミング。
- ④ 地域密着型の安心を与える存在。
- ⑤ 地域に役に立てるよう、少しでも早く作業内容を把握していきたい。

北新庄分団

上嶋 義博



- ① 釣り・登山
- ② 人生一度きり
- ③ 地域の消防団員から誘いをうけて
- ④ 地域活動を支えている。
- ⑤ 少しでも貢献できるように頑張ります。

北日野分団

河端 英之



- ① バイク
- ② 七転八起
- ③ 誘われたから。
- ④ 災害時などで活躍されているイメージです。
- ⑤ 自分も有事などで、人の役に立てる様に頑張りたいです。

北日野分団

穴戸 椋



- ① 子供と遊ぶ
- ② 後悔しないように生きる
- ③ 近所の方から勧誘
- ④ 大変だなと思った
- ⑤ 可能な限り頑張ります。





消防ホースについて学ぶ

まずは座学で知識を深める

ただ体を動かすだけでなく、理論をしっかり学ぶのが上達への近道！
どうすればねじれ（キンク）なく迅速に延長できるのか、その原理原則から安全管理までを改めて学びました。

ここで学んだことを、この後の実技訓練ですぐに実践に移します。



二重巻きホース延長訓練



早速実践！ ホース延長の基本に挑戦

まさにホースが伸びていく躍動感あふれる瞬間です！写真のブレが、訓練のスピード感と活気を物語っていますね。

この「二重巻き」という巻き方は、狭い場所でもホースがねじれることなく、素早く確実に展開できるのが大きなメリットです。

二重巻きホース撤収訓練

いかに速く、そして正確に巻き取れるかが勝負

活動が終わったら素早く撤収できるように、この地道な訓練が欠かせません。最初のひと巻きがキレイに仕上げるコツなんですよ。

奥では仲間が、ホースがねじれないようにサポートしたりアドバイスを送ったりしています。



ホースの「島田折り」訓練



キレイに仕上げるには、 チームワークが不可欠！

みんなで息を合わせて、ホースをアコーディオンのように丁寧に折りたたんでいきます。この折り方のすごいところは、火事の現場で担いだまま走りながら、一気にホースを伸ばせることなんです。

1秒でも早く消火活動を始めするための、非常に実践的な技術なんですよ。